研究計画書（１）

部署名：　　　研究者氏名：

|  |
| --- |
| 研究テーマ |
|  |
| キーワード（３～５個） |
|  |
| 文献検討 |
|  |
| 研究の背景（研究の動機、テーマへの興味・関心、テーマの重要性） |
|  |
| 研究目的：何を明らかにしたいと思う、からこの研究をするのか？ |
|  |
| 研究の意義 |
|  |
| 用語の定義 |
| この研究で扱う主要な概念について具体的な説明を行う |
| 研究方法 |
| 1.研究デザイン：例）量的研究（質問紙調査など）質的研究（インタビュー研究など）事例研究2.研究対象者3.データ収集方法4.データ分析方法5.データ収集期間　倫理審査承認後～　年　月　日まで |

研究計画書（２）

|  |
| --- |
| 研究実施スケジュール |
| →すべての項目を埋めなくてもよい。必要箇所のみ記入し足りなければ追加する。○○○○年○○月　　計画書作成、倫理審査提出○○○○年○○月　　データ収集○○○○年○○月　　データ分析○○○○年○○月　　論文作成（抄録作成） |
| 倫理的配慮　※以下の内容を含んでいること①研究の説明および同意を得る手続き②個人情報の取り扱い③研究対象者に生じる負担ならびに予測されるリスクおよび利益とリスクを最小化する対策④研究対象者およびその関係者からの相談等への対応 |
| ①研究の説明および同意を得る手続き　研究協力者へ研究の目的・方法、研究参加は対象者の自由意思に任せ、参加を拒否しても不利益を被らないこと、研究データの管理や個人情報保護の匿名性の保証について文書を用いて口頭で説明を行い、同意書に署名していただき同意を得る②個人情報等の取り扱い　SDカードに録音された内容は、データ化されたらすぐに削除する。データ化された内容はパスワードのかかるロック付USBフラッシュメモリにて保管し、研究者以外は使用しない。③研究対象者に生じる負担ならびに予測されるリスクおよび利益とリスクを最小化する対策勤務終了後の研究参加により、精神的・身体的疲労感が増すインタビュー内容の漏洩のリスク研究者と研究対象者におきる不均衡な関係 |
| 情報の保管・管理および廃棄方法 |
| 研究で得た情報については、鍵のかかる場所で保管し、研究責任者及び共同研究者以外の目に触れることがないようにする。また、研究終了後は、看護研究担当者会で鍵のかかる場所で3年間保管の後、廃棄する。 |
| 研究にかかる費用・利益相反 |
| 利益相反： |
| 研究成果の公表 |
| 当院の看護研究発表会で発表する。 |
| 引用文献 |
|  |

市立吹田市民病院